中津市議会議員 大塚 正俊

まちづくり 通 信

発行；大塚まさとし後援会　中津市新大塚町 384　℡・Fax 0979-22-6972
携帯 090-2508-7959　E-mail　masatoshi@m-ohtsuka.com
URL（ホームページ）　http://www.m-ohtsuka.com/

“豪雨災害から３カ月、被災地域の早期復旧・復興に向けて”

７月３日・14 日、かつて経験したことのない豪雨による河川の氾濫等により、中津市では行方不明者１名、家屋の被害や道路の崩壊、橋りょうの損壊、農地等の被害が多数発生しました。

被災された皆さま方に、心よりお見舞い申し上げます。

私は、被災された方々が元の生活に戻れるよう、７月５日より災害ボランテイアとして被災地に入りました。今、応急的な復旧は進められていますが、本格的な復旧・復興はこれからとなっています。私も引き続き、被災地域の一日も早い復旧・復興に向けて、全力で取り組みます。

サイクリングロード山国第四橋と土砂が堆積した農地（耶馬溪町宮園）

７月 25 日、今回の豪雨による災害復旧事業に関する予算審議のため第１回臨時議会が開催され、一般会計補正予算、特別会計補正予算が原案どおり可決されました。

■第１回臨時議会（7 月 25 日）で決まったこと。【抜粋】

【一般会計補正予算；約１６億５０６５万円】

土砂が堆積した下郷保育所（現在休所中）

・林地崩壊防止対策緊急事業補助金；2500 万円
・消防ポンプ車購入費；4811 万円
・耶馬中学校生徒通学助成事業；470 万円
・農地等災害復旧事業；3 億 3980 万円
・林業用施設災害復旧事業；1 億 1160 万円
・道路災害復旧事業；1 億 3920 万円
・河川堤防災害復旧事業；1 億 500 万円
・橋りょう災害復旧事業（流出 6 橋、一部損壊 2 橋）9460 万円
・漁業施設災害復旧事業（中津沖の堆積物の除去、処理費）250 万円
・公営住宅施設災害復旧事業（耶馬溪町宮園、樋山路住宅）1830 万円
・民生施設災害復旧事業（下郷保育所・耶馬溪ディサービスセンター等）9560 万円
・商工施設災害復旧事業（やばの駅・郷の駅）3290 万円
・公立学校施設災害復旧事業（下郷・城井小グランド、耶馬溪中駐輪場）4000 万円、
・社会教育施設災害復旧事業（移動図書館、耶馬溪・下郷公民館）；1043 万円
・体育施設災害復旧事業（ｺﾛﾅ・耶馬溪運動場、耶馬溪ﾀﾞﾑｽﾎﾟｰﾂ公園、山国河川ﾌﾟｰﾙ等）1600 万円
・観光施設災害復旧事業（青の洞門トイレ、観光案内所、深耶馬・裏耶馬公共駐車場）3830 万円
・その他災害復旧事業（ごみ処理費等）9103 万円
・予備費（その他の災害対策費；2 億円

9 月定例議会は、8 月 30 日から 9 月 27 日の 29 日間開催され、今回の豪雨による災害復旧事業に係る一般会計補正予算等の補正予算 9 件、条例議案 4 件、その他議案 11 件、計 24 件を原案どおり可決しました。

■9 月定例議会で決まったこと。【抜粋】

1．一般会計補正予算；約 35 億 6000 万円

・農地及び農道、用排水路等の災害復旧工事等（294 ヶ所）
10 億 589 万円
・林道の災害復旧工事等（23 路線、71 ヶ所）；2 億 3980 万円
・市道の災害復旧工事等（35 路線、53 ヶ所）；4 億 7752 万円
・河川の災害復旧工事等（36 河川、66 ヶ所）；8 億 3654 万円
・橋りょうの災害復旧工事等（23 橋）；6 億 9851 万円
・青の洞門のフェンス及び木柵工事；398 万円
・急傾斜地崩壊対策工事（3 ヶ所）；2381 万円
・防災士研修講座負担金（100 名分）；100 万円
・地区放送施設修繕補助金（5 ヶ所）；100 万円
・三光佐知地区の農事法人に対する園芸栽培施設整備補助金
1 億 6000 万円
・不活性ポリオワクチンの導入に係る予防事業（2 回⇒4 回）
2195 万円
・外国語指導助手派遣委託料（2 名分）；320 万円

崩壊した本耶馬渓平ノ原川

崩落した耶馬渓町柳ケ平橋

2．公共下水道事業特別会計補正予算（約 6781 万円）

・山国浄化センターの汚泥、水処理施設、電気施設の機器交換、堤防の設置工事

応急復旧した山国町市平線

3．条例議案

□ひとり親家庭医療費助成に関する条例（10 月 1 日施行）

・ひとり親家庭の医療費助成分を病院窓口で減額、免除して払う方式とする。
・自己負担額；18 歳以下の子どもは無料
親は 1 回 500 円（最大 4 回/月）

□なかつ情報プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正（10 月 1 日施行）

・開館時間；平日は午前 8 時 30 分～午後 9 時
土,日,祭日は午前 10 時～午後 6 時

4．財産の取得

・水槽付消防ポンプ自動車（2877 万円）及び消防ポンプ自動車（1712 万円）の購入

上流より水が押寄せる山国浄化センター

5．工事請負契約の締結

・中津中学校体育館改築工事（2 憶 328 万円）、城北中学校校舎増築工事（2 憶 1630 万円）の請負契約の締結

6．訴えの提起

・市営住宅の家賃滞納者に対して、滞納家賃の支払いを求めて裁判所に訴える。（4 名）

7．副市長の選任

・鯨井副市長の退任に伴い、新たに「海野耕太郎（かいのこうたろう）」（厚生労働省出身、46 歳）を選任。

9 月定例市議会の議案質疑の概要

■私は、議案質疑で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

≪質問≫今回の激甚災害指定や災害救助法の適用を踏まえ、農地や農業用施設（水路、農道等）の災害復旧について、国の補助事業に係る分担金（個人負担金）の軽減や 40 万円未満の工事に対する補助金の増額、旧中津と旧下毛の農地災害の支援策の不均衡是正等を実施し、農家の負担軽減を実施すべきではないか。

耶馬渓金吉の農地災害

【執行部答弁】

今回の被害の甚大さを踏まえ、農家の負担軽減と旧中津と旧下毛の不均衡是正を行うため、農地の災害復旧事業に係る新たな市の方針として、以下の4点にそって対処する。

①農地等災害復旧事業分担金（個人負担金）については、現行制度では復旧事業費の 10%以内となっているが、国の補助率の残りの 2 分の 1 を市が負担する。

（例）平成 19 年の農地等災害復旧事業では、国費災害の平均補助率は 95.9%、個人の平均負担率は 4.1%、１件当たりの平均被害金額は 95 万 6 千円を例に算出すると、

（現行）個人負担率は 4.1%、１軒当たりの分担金は約 4 万円

（改正）個人負担率は 2.1%、１軒当たりの分担金は約 2 万円

②旧下毛の国費災害に該当しない 40 万円未満の災害に係る農地等の災害復旧工事補助金については、現在、激甚災害の適用を受けた場合には復旧工事費の 70%を補助する内容になっているが、災害救助法や激甚災害の適用など、災害の程度により補助率を引き上げるよう制度の見直しを検討する。（今回の災害については 90%で決定。）

（例）個人が実施した農地の復旧工事に３０万円かかったとすると、

（現行）補助率 70%で、21 万円の補助（9 万円の個人負担）

（改正）補助率 90%で、27 万円の補助（3 万円の個人負担）

③水路の土砂撤去及び用水ポンプの貸出等は市の負担、燃料費･電気代等は地元負担としていたが、更に農家負担の軽減を図るため、燃料費等を含む応急復旧工事については、市で対応する。

（例）10 軒の農家で、ポンプの燃料代が 50 万円かかったとすると、

（現行）1 軒当たり燃料代 5 万円の個人負担　⇒　（改正）燃料代の個人負担なし

④災害復旧事業に係る分担金（個人負担金）を徴収する区域について、旧中津と旧下毛との個人負担額の均衡など制度上の課題を改善するため、分担金の軽減措置と合わせて市全域を対象にした制度への見直しを検討する。

（旧中津）現行；分担金なし⇒改正；分担金の徴収　※今後の災害より対象

現行；40 万円未満の災害工事補助金なし⇒改正；補助金あり

（旧下毛）現行；分担金あり、災害工事補助金あり⇒改正；分担金軽減、補助率引上げ

≪反対討論≫一部議員から、上記①の分担金を１円／人とする予算の修正案が提出されましたが、「分担金（個人負担金）は、農地の利用者が公共事業から受ける利益に応じて、その事業費の一部を負担するという応益原則に基づいた制度である。また、新たな市の方針は県下でも最高水準の農家の負担軽減措置を講じている。」旨の討論を行いました。

9 月定例市議会の一般質問の概要

■私は、一般質問で以下の項目について執行部の考えを質しました。（一部抜粋）

１．墓地の新設、移転について

〔経過〕7 月の豪雨によって、墓地や墓石の倒壊、流失を見てきました。合併前の平成 17 年 2 月末までは、旧町村は大分県墓地等の経営許可に関する条例に基づいて、個人墓地についても一定の設置基準を満たせば経営許可を取ることが可能でしたが、合併後は経営許可を取ることができなくなっています。

お年寄りの方が裏山の共同墓地に行く坂を登れないので、家の近くに墓を建てたいとか、個人墓地の経営許可が出ないので、地元の了解を頂いてこっそりお墓を建てるしかないとの声を聞いています。

個人墓地の倒壊した墓石

≪質問≫このような市民の声を踏まえて、山間、へき地に限定して個人墓地の設置を認める条例改正を検討すべきと考えますが如何ですか。

【答弁】墓地の経営は公衆衛生、公共の福祉そして永続性が強く求められます。旧下毛地域にも共同墓地等があるので、墓地埋葬等に関する法律や現行の墓地等の経営許可に関する条例で対処していけるものと考えています。

≪今後の対応≫執行部は、個人墓地の設置を認める意志がないため、大分市等の条例を参考に、墓地等の経営許可に関する条例の一部改正（案）を検討し、議会に提案します。

２．地域主権改革への対応

〔経過〕地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法令の整備に関する法律（いわゆる地域主権改革一括法）が平成 23 年 8 月成立し、都道府県の権限の市町村への権限移譲（47 法律）、地方自治体の自主性を強化し、自由度の拡大を図るための義務付け・枠付け見直しと条例制定権の拡大（160 法律）が行われました。

（１）工場立地法の一部改正に伴う対応

≪質問≫工場立地法の一部改正により、工場立地に関する緑地面積率及び環境施設面積率に係る準則の制定権限が市に移譲されました。

そこで、周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼさない範囲において、特定工場の緑地及び環境施設の設置義務の緩和を行い、工場敷地の有効活用を図り、企業の誘致及び既存工場の増設を促すため、新たに条例を制定すべきと考えますが、如何ですか。

ダイハツ九州工場

【答弁】市では、これまで企業誘致を積極的に進めてきたところですが、他地域との競争において不利とならないように、早急に市準則条例の制定を行うことで、新たな企業誘致につなげていきたいと考えております。

（２）道路法の一部改正に伴う対応

≪質問≫道路法の一部改正により、地域に密着した生活道路について、これまで基準としてきた国の道路構造令の道路勾配、歩道幅員等の基準を緩和することができるようになりました。また、警戒標識の寸法について、景観への配慮等必要がある場合、道路標識、区画線及び道路標示の寸法（45㎝角）を縮小することができるようになっています。

そこで、中津市独自の道路構造基準や道路標識基準を制定すべきと考えますが、如何ですか。

国の道路構造令に基づく市道諸田中央線

【答弁】中津市の農山村部と都市部のおりなす地域性を十分に考慮し、県道等の技術的基準を参考にしながら中津市の実情に合った市道等の構造の技術的基準や道路標識等のデザインに関する基準の制定について、十分検討を重ねて参りたいと考えております。

３．新中津市史の編さん

〔経過〕現在の中津市史（郷土史）は、Ｓ40 年 5 月に合併 30 周年記念（市制 30 周年記念）として発刊され、46 年が経過しています。昨年の 9 月議会の一般質問では、「中津市におきましても、このような課題を総合的に勘案しながら、中津市史発刊に向けて取り組んでいきたい。」との答弁がありました。

≪質問≫7 年後の市制 90 周年までに、新中津市史を作成すべきと考えますが、如何ですか。

昭和 40 年発刊の中津史市

【答弁】今後は、これまで調査した八王子市や館林市など他市の発刊までのスケジュール、人員配置、予算などを参考にして、中津市史の作成に向けて、早急に検討したいと考えています。

４．城下町エリアの旧町名復活運動

〔経過〕城下町の風情をもったまちづくりを進めている南部校区、北部校区の一部には、中津市１番地から 2648 番地という住居表示がなされており、旧町名を使った中津市豊後町０００番地に見直すべきと考えています。

昨年 9 月の一般質問において、「旧町名復活運動の実施にあたっては、まずは地域住民の意向を確認していきたい。」との答弁がありました。

≪質問≫地名は、その地域の文化遺産であり、歴史資産です。地名が持つかけがえのない価値に注目し、これを復活、定着させていくことで、過去から未来までを貫くまちづくりが展開できると考えています。

そこで、旧町名の復活に向けて、今後の進め方について伺います。

城下町エリアの町名説明看板

【答弁】今後、旧町名の復活に向けて法務局との協議を進め、旧町名復活の対象地域及び使用する旧町名を確定させた後、対象地区の自治委員さんへ旧町名復活に関する意向調査を実施したいと考えております。

■活動日誌　主な活動の一部をご紹介します。

月　日	曜日	活　　動　　内　　容
7月1日	（日）	まちづくり研修視察（ソウル；4日まで）
7月4日	（水）	7・3豪雨災害実態調査
7月5日	（木）	7・3豪雨災害実態調査＆災害ボランティア（本耶馬渓町青）
7月6日	（金）	災害ボランティア（耶馬溪町深耶馬）
7月7日	（土）	災害ボランティア（耶馬溪町栃木、大島、下郷、山国町中摩；11日まで）
7月8日	（日）	新大塚町自治会役員会
7月12日	（木）	会派打ち合わせ、学びの里づくり研究会
7月13日	（金）	健康診断、災害ボランティア（本耶馬渓町青）
7月14日	（土）	7・14豪雨災害実態調査
7月15日	（日）	災害ボランティア（山国町中摩；18日まで）
7月19日	（木）	議会全員協議会、補正予算に計上された災害現地調査
7月20日	（金）	県政・市政報告会（今津公民館）、中津城の石垣の草取
7月21日	（土）	災害ボランティア（山国町中摩、奥谷；23日まで）
7月24日	（火）	市議会議員研修会（議員定数のあり方）
7月25日	（水）	第1回臨時議会
7月26日	（木）	中津祇園まつり（諸町；29日まで）
8月2日	（木）	終末処理場周辺環境整備に関する要望書提出、平和の鐘まつり
8月6日	（月）	NPO法人なかつ耶馬渓活き域きネット打合せ 、北部小平和授業参観
8月9日	（木）	8・9反核平和集会 、原水爆禁止平和行進 、中津とうろう祭り
8月10日	（金）	会派打ち合わせ（9月議会の代表質問）
8月11日	（土）	県政・市政報告会（北部集会所）、初盆家庭参り（13日まで）
8月14日	（火）	市への要望（荒れた農地、空き家対策）、新大塚町内盆踊り大会
8月18日	（土）	中津南高32回生同窓会準備会
8月19日	（日）	新大塚町防犯パトロール、中津市消防団19パトロール
8月21日	（火）	6次産業推進研究会 、九州ブロック自治体議員団会議（22日まで）
8月23日	（木）	まちなみ歴史探検ガイド（教職員）、議員定数調査研究プロジェクト会議
8月24日	（金）	新大塚町子ども会「ラジオ体操」、中心市街地活性化研究会
8月25日	（土）	鶴市神社かさぼこ（26日まで）
8月26日	（日）	人権学習会（新大塚町自治会）
8月28日	（火）	総務消防委員協議会 、北部公民館まつり実行委員会
8月29日	（水）	第1回自治研スクール学習会
8月30日	（木）	第3回定例市議会（9月議会）開会、「内部被ばくを生き抜く」上映会
8月31日	（金）	市道認定に関する打ち合せ、北部校区青少年健全育成協議会役員会
9月1日	（土）	ダイハツ九州まつり、新大塚広場草取り
9月3日	（月）	新大塚町の浸水対策に関する打ち合せ
9月4日	（火）	県政・市政対策会議、企業誘致及び地域活性化調査研究会
9月6日	（木）	9月議会議案質疑
9月8日	（土）	県民体育大会（議員ソフト；2回戦敗退）
9月9日	（日）	県民体育大会（議員リレー；決勝4位）
9月11日	（火）	議会常任委員会（総務消防委員会）
9月12日	（水）	議会常任委員会（文教経済委員会）
9月14日	（金）	9月議会各常任委員長報告、質疑、討論、採決、代表質問
9月15日	（土）	新中津市民病院竣工式典、内覧会
9月16日	（日）	敬老の日の集い（新大塚町自治会）
9月17日	（月）	中津城薪能
9月18日	（火）	9月議会一般質問（20日まで）
9月21日	（金）	イオン福津店大分うまいものフェアー（23日まで）
9月23日	（日）	新大塚広場と道路清掃活動 、道の駅予定地の大坪遺跡現地説明会
9月24日	（月）	秋の交通安全運動朝立ち（28日まで）
9月26日	（水）	施設委員会による災害箇所現地調査に同行
9月27日	（木）	9月議会最終日、議員定数調査研究プロジェクト会議
9月29日	（土）	諸町景観まちづくり協議会総会、福澤諭吉語録看板設置完成式

■最新情報

諸町集会所として使用されてきた江戸末期の建物を、南部まちなみ交流館（仮称）として整備する関連予算が、12 月議会に提案されます。（右図はイメージです。）

◆活動報告は、ホームページに、詳しく掲載しています。

http://www.m-ohtsuka.com/又は大塚正俊ｵﾌｨｼｬﾙｻｲﾄで検索して下さい。